

## 収入調整の影響

	労働時間数	時間賃金額	賞与
平成2年	▲23%	▲4%	▲51%
平成7年	▲30%	▲9%	▲48%

(資料出所)労働省「パートタイム労働者総合実態調査」個票データによる推計結果  
 神谷隆之「女性労働の多様化と課題」ファイナンシャル・レビュー1997年12月号より転載

(注)上記推計結果より、収入調整の影響がなかった場合の賃金格差を推計すると、

$$\text{平成2年 } 72.0 \times 1.04 = 74.9$$

$$\text{平成7年 } 70.4 \times 1.09 = 76.7$$